

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!

第6回（11月19日（火）放送分）の概要

今回は、家に太陽光発電設備や蓄電池を導入するという Nice Action について話を進めることとします。

ざっくりいうと、この補助は、ご自宅に太陽光パネルと蓄電池をつけるためのものです。それにより発電した電気を自宅で使うとともに、余った電気は、なるべく蓄電池に貯めて夜などに使ってもらいます。

これも国の予算をもらって実施しています。

今回は、家電と違って多くの方に使ってもらえるものではないのですが、これもゼロカーボンに向けて効果のあるものとなっています。

具体的には、太陽光からの電気を使うことにより、石炭から作った電気を買ってこなくて良くなるということから、二酸化炭素の排出を抑えることとなります。また海外の原料を買うことを減らすことができるので、市の経済や日本の経済にとっても良いこととなります。私たち市民が稼いだお金を、市外や海外へ渡さずに、市内のお店で使えるということで、それだけ市の経済にとって良いことになりますね。

電気を作る・電気を使うといったことが、ものすごく身近に感じられるようになってきました。大きな鉄塔や送電線で送られてくるものだけが電気……と私は思っていたんですよ。でも現在はこうして自分の家で電気を生み出すことができるんですね。

先ほど、家電補助に比べて多くの方に使ってもらえるものではないと言いましたが、具体的に家電補助と違うところは、例えば20年くらい設備を使うことが前提となるため家を長く使う予定である方に限られるとか、つける屋根もパネルの重みに耐えられるものに限られるといったところですね。

太陽光パネルは、法定耐用年数という最低限使う必要のある年限が17年と長いのです。また初期投資の費用を毎年の電気代の節約分で回収するにしても15年くらいかかるので、どのご家庭、ご自宅でも活用できるといったものではないといえます。

ただ初期費用は高いが、毎年のランニング費用が安いという点は、前回説明した省エネ家電と同じです。だからこそ、市として初期費用に対して補助をして導入を支援するというをやっています。

やはり長い目で見るとお得になるんですね。ただそこはわかりづらいかもしれません。まだ市内では前例が少ないですからね。

この取り組みは全国で行われているのですが、鹿角市の場合は、雪が多く、寒冷地であるという特徴があります。雪がパネルに積もっている間は、太陽が出ていても発電しないので、他の地域に比べると不利にはなりませんね。

それでも、機械の導入費用を下げるなど、市民のみなさまや業者さんもいろいろ工夫しながら進めてもらっており、鹿角市内でも徐々に広がってきているところです。

そうなんです！ 雪の重みに機会が耐えられるのかなどか、冬場は日照時間が少ないのに本当に電気代がお得になるのかなどか、気になる点がいろいろあります。

なお、自分の家に導入することが資金的に見合うかどうかを簡易的に検討するエクセルツールは作ってあります。鹿角市のゼロカーボン推進室のホームページ上から取ることもできますし、ゼロカーボン推進室に連絡いただければ、ご自宅の屋根の大きさなどをお聞きしながら試算することもできます。

この資金的に見合うかどうかですが、この点は例えば10年から20年間の太陽の日射量とか雪の量とかが、予想と実際とで大きく異なってくると、結果も変わってきます。また、自宅の電気の将来の使用量によっても結果は変わります。例えば、お子さんが独立して、電気使用量が想定よりも減ったり、逆に電気製品が増えてきて電気使用量が想定よりも増えるといったこともあり得ます。こうした点も踏まえつつ検討を進めると、より納得感のある結論を出すことができますね。

この事業の実績ですが、昨年度が6件、今年度は10月中旬時点で8件の導入がなされています。これは毎年二酸化炭素を約63トン削減するという効果を生んでいます。

前回お話しした家電の効果である二酸化炭素約90トンと比べても、件数が少ないにも関わらず、同じくらいの効果を生んでいるといえますね。これも Nice Action といえます。また今回も物価高騰のおり、燃料費の節約にもなりますから、その観点でも大切な活動ですよ。

燃料費の節約をするといった自分の行動が Nice Action やゼロカーボンにつながっていくんですね。